

# 南山短期大学人間関係研究センター事業報告 (1995年度)

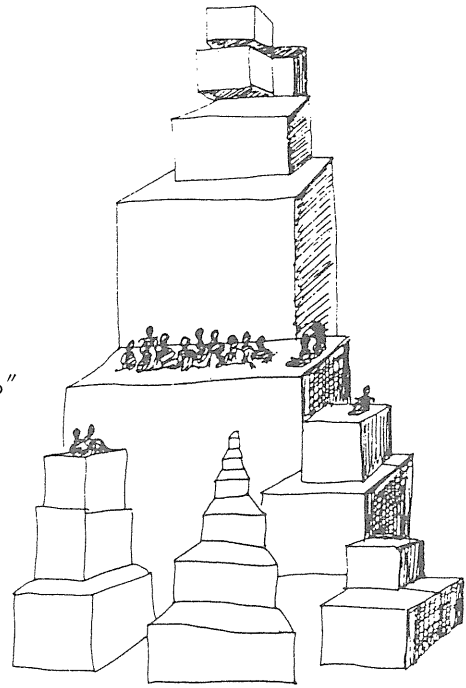
事業概要 .....	219
社会人研修 .....	220
1. 人間関係基礎研修講座（一般研修） .....	220
2. 人間関係専門研修講座（継続研修） .....	221
3. 人間関係特定研修講座 .....	223
4. 社会人研修参加者統計 .....	224
コンサルテーション .....	225
1996年度人間関係研究センター事業予定 .....	227
南山短期大学人間関係研究センター規程 .....	236



## ■ 事業概要

“ねむりこけたままほうられている人間が多すぎる”

—サン・テグジュペリ



センターの重要な活動である社会人のための公開講座は、1977年のセンターの発足時から毎年定期的の開講されている基礎研修講座を中心に、各種の専門研修講座や特定研修講座を開催している。これらの講座は南山短期大学が地域社会に対してユニークな学習の場を提供する機能と同時に、センター研究員に対して教育訓練に関する多様な臨床研究の場を提供する機能を果たしている。

基礎研修講座（一般研修）は昨年春秋3回開催され、既に44回を重ねている。基本的なプログラムは週1回約3時間（午後6時30分～9時）の研修を10週間続けて1コースとし、体験学習による自己理解や他者理解、コミュニケーション・プロセス、グループ・プロセスの基本的な学習を目指している。受講者にとっては、利害関係にとらわれることなく、さまざまな人々と接触を持つことも魅力の一つであり、そこから新しい友人関係や仲間意識が生まれ、自主研修グループに育っていく場合もある。

専門研修（継続研修）としては、“自己理解を深める”研修と“グループ・プロセスの理解を深める”研修とが基礎研修に続く研修として開講されている。中部地区では、初めての、Tグループを中心として人間関係トレーニングやTAセミナーは回数を重ね、からだごとばのセミナー、ボディワーク・セミナーも多くの受講者を迎えている。また、新しく、聖書深読入門も開講された。特定の専門職にある人々のための特定研修講座としては、アドバンス体験学習も開かれている。

一方、コンサルテーション活動は地域社会の個人や組織体に対してセンターが提供できる専門的機能であり、1984年度「名古屋いのちの電話準備委員会」約100名の電話相談員の「人間関係基礎訓練」以来、「名古屋いのちの電話」は、1985年7月から相談業務に入り、センターは毎年「人間関係基礎訓練」「継続研修」の訓練計画と実施の援助を続けている。種々の地域団体の研修プログラムをはじめ1990年度より名古屋生涯教育センターからのプログラム開発に対して講師としてセンター研究員が派遣されている。

---

■ 社会人研修／人間関係基礎研修講座（一般研修）

第42回人間関係講座

開講期間：1995年5月11日～7月20日 毎週木曜日 午後6時30分～9時

参加者：34名

担当者：津村 俊充・まどか 庸代

第43回人間関係講座

開講期間：1995年5月13日～7月29日 毎週土曜日 午後1時30分～4時

参加者：28名

担当者：中野 清・中村 和彦

第44回人間関係講座

開講期間：1995年9月25日～12月11日 毎週月曜日 午前9時30分～12時

参加者：26名

担当者：伊藤 雅子・佐竹 一予

ドストエフスキイを読もう

開講期間：1995年4月1日～1996年1月27日 毎週土曜日 午後4時～6時

参加者：23名

担当者：大森 正樹

聖書深読入門

開講期間：1995年7月29日・30日（2日間集中）

参加者：22名

担当者：奥村 一郎

---

## ■ 社会人研修／人間関係専門研修講座（継続研修）

### TA入門（トランザクショナル・アナリシス）A

開講期間：1995年8月24日・25日・26日（3日間集中）

参加者：20名

担当者：中堀 仁四郎

TA入門は、毎年たいへん人気があり、今年度は3日間集中のAコース（8月24日（木）～26日（土））と、宿泊を含むBコース（11月3日（金）～4日（土））が実施された。講座参加者はAコース20名、Bコース23名と盛況であった。

このうちAコースでは、平日にもかかわらず、男性の割合も多く熱心にすすめられた。

#### 講座のねらい

- ・トランザクショナル・アナリシス（TA）の基本的な考え方を理解する
- ・TAを用いて自己理解を深める
  - 自分の行動の基にあるものに気づく
  - 自分のなかの可能性を見つける
- ・自律的な人間関係のありかたを探る

アンケートでは、以下の声が寄せられた。

- ・ゆったりとした自分を考える時間があった。自分と他者とのトラブルについて見直すことができた。
- ・本を読んだだけでは分からないTAの実際の運用を知ることができ、自分の気持ちの分析にも役立つと思います。
- ・分かりやすい実習が多く、自我状態の理解がよくできた。
- ・進行に合わせて内容の充実をその都度していただき、不満足が残らなかった。
- ・長い間忘れていたことがよみがえり、自分なりに意義づけられた。
- ・先生がマイナスの発言をなさらないことに我が身をふりかえり、反省。
- ・You're OKの気持ちをいろんな人に伝えたいと思います。
- ・頭での理解ではなく感覚を味わうという形で沢山の实習が組み込まれていてよかった。
- ・実際にロールプレイをすると、本当にいろいろなことに気づけました。
- ・実習によって頭だけでなく、感情などがあたたかもその場、そのときのようにリアルに体験でき納得できた。
- ・頭ではなんとなくわかった。あと本当に「意味があったかどうか」は、これからの日常に戻らないとわからない。これからの勝負。

## TA入門（トランザクショナル・アナリシス）B

開講期間：1995年11月3日・4日（宿泊）

参加者：23名

担当者：中堀 仁四郎

## TAによる自己啓発

開講期間：1996年3月8日～10日 2泊3日

場 所：（財）キープ協会・清泉寮

参加者：6名

担当者：中堀 仁四郎

## ボディワーク・セミナー

開講期間：1995年7月1日・8日・15日（通い） 28日～30日（宿泊）

参加者：16名

担当者：グラバア 俊子

## からだとことばのセミナー

開講期間：1995年7月17日・18日・19日（3日間集中）

参加者：28名

担当者：竹内 敏晴

## 造形ワークショップ

開講期間：1995年8月25日・26日・27日（3日間集中）

参加者：9名

担当者：西村 陽平

## ユング心理学

開講期間：1995年7月31日・8月1日・2日（3日間集中）

参加者：26名

担当者：木村 晴子

## Tグループ（人間関係トレーニング）

開講期間：1995年9月12日～17日 5泊6日

場 所：（財）キープ協会・清泉寮

参加者：18名

担当者：中堀 仁四郎・山口 真人・中野 清・高本 紀子

---

## ■ 社会人研修／人間関係特定研修講座

### アドバンス体験学習

開講期間：1995年9月30日～1996年2月10日 毎週土曜日

午後1時30分～4時30分

参加者：13名

担当者：星野 欣生

■社会人研修／参加者統計（1995年度）

講座名	場所	担当者	期	時間	曜日	参加者数	性別		居住地		職業						年齢									
							男	女	市内	市外	公務員	会社員	自営業	医療関係	教育関係	教会関係	主婦	その他	無	20才	20～29才	30～39才	40～49才	50才以上		
人間関係講座 No.42	南山短大	津村まどか	H7.5/11～7/20	18:30～21:00	木	34	6	28	23	11	2	2	7	3	5	4	0	3	3	2	9	12	8	5	0	
人間関係講座 No.43	〃	中野中村	H7.5/13～7/29	13:30～16:00	土	28	4	24	12	16	1	0	6	4	1	2	0	11	0	3	0	5	6	10	5	2
人間関係講座 No.44	〃	伊藤佐竹	H7.9/25～12/11	9:30～12:00	月	26	0	26	20	6	1	0	0	1	0	1	0	19	1	2	1	3	12	9	2	0
計						1,399	291	1,108	853	546	75	68	347	49	139	188	43	276	96	93	25	610	363	295	117	14
前回まで						1,123	277	846	503	620	63	68	336	42	119	175	13	111	64	102	30	435	324	255	78	31
ボディワーク・セミナー	南山短大風の壘与	グラバア	H7.7/1, 8, 15, 28～30	(宿泊)		16	2	14	8	8	1	3	6	1	1	0	0	1	0	3	0	8	2	4	2	0
造形ワークショップ	南山短大	西村	H7.8/25～8/27	3日間集中		9	1	8	4	5	0	0	2	1	1	0	0	1	1	3	0	4	3	2	0	0
からだところばのセミナー	〃	竹内	H7.7/17～7/19	3日間集中		28	6	22	10	18	3	0	3	2	5	3	0	6	2	4	0	5	15	6	2	0
Tグループ	清里清泉寮	中野・山口中野・高本	H7.9/12～9/17 H7.12/10	5泊6日		18	10	8	2	16	0	1	3	3	1	2	0	0	6	2	0	8	2	5	3	0
ユング心理学	南山短大	木村	H7.7/31～8/2	10:00～17:00		26	5	21	16	10	0	1	3	1	1	7	0	5	4	3	1	5	10	7	2	2
TA入門A	〃	中堀	H7.8/24～8/26	3日間集中		20	5	15	10	10	1	0	3	2	1	5	0	5	0	3	0	3	9	6	2	0
TA入門B	〃	中堀	H7.11/3～11/4	(宿泊)		23	6	17	6	17	2	3	5	1	3	2	0	1	2	3	1	12	5	4	1	1
TAによる自己啓発ドストアフスキューを讀もう	清里清泉寮 南山短大	中堀 大森	H8.3/8～3/10 H7.4/1～H8.1/27	2泊3日 16:00～18:00	土	23	6	17	12	11	0	0	1	0	0	0	0	2	1	3	16	1	2	1	5	14
聖書深読入門	〃	奥村	H7.7/29～7/30	9:00～15:00		22	18	4	11	11	2	1	2	0	1	2	1	7	0	5	1	4	0	9	8	1
計						1,314	339	975	585	729	72	77	366	54	135	196	14	139	80	132	49	488	372	302	103	49
前回まで						283	87	196	135	148	6	9	51	9	15	110	28	28	3	19	5	52	108	78	39	6
アドバンス体験学習	南山短大	星野	H7.9/30～H8.2/10	13:30～16:30	土	13	4	9	6	7	0	0	3	1	3	4	0	1	0	1	0	1	3	6	3	0
計						296	91	205	141	155	6	9	54	10	18	114	28	29	3	20	5	53	111	84	42	6
総計						3,009	721	2,288	1,579	1,430	153	154	767	113	292	498	85	444	179	245	79	1,151	846	681	262	69



---

## ■ コンサルテーション

### ○「名古屋いのちの電話」電話相談員養成講座の計画と実施

「いのちの電話」は、訓練を受けたボランティアが電話を通して、さまざまな悩みや心の危機に直面しながら身近に相談できる相手がなく孤独の中にいる人たちの、良き相談相手になっていこうとする市民の奉仕活動である。1953年ロンドンで始められ、現在では世界40ヶ国、数百万都市に設立されている。日本では、1971年に「東京いのちの電話」が開設され、今日まで東京、横浜、京都、大阪など30余りの都市に設立され、「日本いのちの電話連盟」を組織して各地でそれぞれ独自の活動をしている。

「名古屋いのちの電話」は全国で23番目の「いのちの電話」として1985年7月に開局し、現在150名余りのボランティアが年中無休の電話による心理的危機に対する援助活動に参加している。人間関係研究センターは、名古屋いのちの電話訓練委員会からの要請で、相談員養成講座の第一課程である人間関係基礎訓練のプログラムの立案と実施のコンサルテーションを行っている。継続研修、スーパービジョン、訓練委員としても関わっている。1986年7月には「名古屋いのちの電話」より感謝状の贈呈を受けた。

基礎訓練は「自己理解を深める」をねらいとして、一泊研修と、1回3時間のセッションを毎週1回、計8回の体験学習プログラムを立案、実施している。1985から1995年度には第2期生から第9期生（計293人）の基礎訓練を実施。また1996年度10月から12月には第10期生の基礎訓練を予定している。

ねらい：「自己理解を深める」

- ・自分の価値観（考え方や行動の特徴）に気づく。
- ・自分のありのままを表現する。
- ・相手のありのままを聴く。
- ・対人関係（自分との、他人との）の中にある自分のあり方に気づく。
- ・今、ここでの関係の中におこっていることに気づく。

この訓練は、電話相談員養成の目的で行われたものであるが、決して相談員となるための技能訓練ではない。社会の中で、人とのかかわりの中で、共に生きようとするときに、誰でも求められることからの訓練としてプログラムされたものである。生涯学習のための一つのプログラムでもある。

1986～1995年度コンサルテーション及び依頼事業

(順不同)

講 座 名	主 催
<p>電話相談コンサルテーション                      スクールODコンサルテーション                      リーダーとして備えるべきものは何か                      情報を大切にされた教育                      人間関係及びグループリーダー研修等                      出会い・ふれあい・結婚                      ヘルスカウンセリング指導者養成講座                      教師と生徒とのコミュニケーション                      の中でどこまで訊けるか                      人と人とのコミュニケーションについて                      青少年担当者・指導者養成事業                      箱庭療法                      箱庭療法研究会                      人間関係トレーニング（Tグループ）                      「おとしよりの人間関係・チームワーク」体験学習                      教師と生徒の人間関係                      リーダーシップについて…理論と実践…                      習熟度別学習指導について                      PFスタディーの理論と実践                      人間関係トレーニング                      …自己理解・他者理解のために…                      非行少年の箱庭                      昭和63年春期アドバンスコース                      患者理解を深めるために                      箱庭療法ケースセミナー                      人間関係をよくするために                      女性が学ぶこと、ライフサイエンス                      カウンセリング講座                      学校栄養職員研修会「リーダーシップの機能」                      老人福祉関係職員等研修事業                      勤労青少年リーダー養成研修会                      企業経営＝職場でのコミュニケーション                      私学協会教育相談研究会                      サークル活動をデザイン                      研修・研究の調査                      女性講座                      気づき重視トレーニングの科学的根拠をさぐる                      グループの中の人間関係                      女性管理者養成講座                      生徒指導のあり方                      なごやかスタッフ養成研修                      カウンセリングセミナー                      グループワークトレーニングの基礎知識                      社内研修会「なぜ今“気づき”なのか」                      名古屋市民大学「グループリーダーセミナー」                      自主グループの研修会                      ライフサイエンスのめざすもの                      自分を知るプログラムの体験学習                      ヒューマン・リレーションズ・ラブ                      女性のための自己開発講座                      青年リーダー養成講座                      人間関係を豊かにするには                      人間関係トレーニング                      中堅看護婦として自己をふりかえり、                      自分の立場を認識する                      よりよい人間関係を築くために                      なごや女性カレッジ                      「おとしより・同僚と人間関係・チームワーク」                      両親のためのコミュニケーション講座                      ボランティア・リフレッシュ講座</p>	<p>名古屋いのちの電話                      聖カピタニオ女子高等学校                      東海理化労働組合                      遠州カウンセリング研修会                      名古屋市各区社会教育センター                      名古屋瑞穂青年の家                      愛知県教育委員会                      愛知県私学協会研究部                      東海市教育委員会                      愛知県総務部                      財団法人関西カウンセリングセンター                      兵庫教育大学生徒指導講座                      遠州カウセリング研究会                      名古屋市民生局                      中部地区カトリック中・高等学校教職員教育研修会                      愛知県労働部                      香川県立小豆島高等学校                      宝塚市立教育研究所                      財団法人関西カウセリングセンター                      大阪家庭裁判所                      関西カウンセリングセンター                      浜松市立看護専門学校                      メンタルヘルス研究所、東京                      戸塚協会名古屋支部                      名古屋市教育委員会；名古屋市婦人会館                      愛知県看護協会                      名古屋市教育委員会                      名古屋市民生局                      愛知県労働部労働福祉課                      名古屋商工会議所                      愛知県私学協会                      名古屋市瑞穂青年の家                      奈良県教育センター                      春日井市いぶき会                      名古屋市青年会議所                      名古屋市婦人会館                      日本経営管理協会中部支部                      平和町立平和小学校                      社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会                      社会福祉法人あさみどりの会                      東海市教育委員会 東海市立青少年センター                      MMC／マーケティング・マネジメント・センター                      名古屋市生涯教育センター                      婦人学習相談員グループ                      名古屋青年税理士連盟                      国立婦人教育会館                      聖マーガレット生涯教育研究所                      滋賀県立婦人センター                      小牧市教育委員会                      名古屋市母子施設連盟                      厚生連中央看護専門学校                      藤枝市立志太総合病院                      三重県市町村保健婦協議会                      名古屋市教育委員会                      名古屋市厚生院                      あらたまメンタルクリニック                      岩倉市社会福祉協議会</p>

---

## ■ 社会人研修／人間関係研究センター1996年度事業予定

南山短期大学人間関係研究センター  
The Center for the Study of Human Relations  
of Nanzan Junior College

個性ある生き方と人間性豊かな社会をつくり出すために

私たちは一人ひとり豊かな人間性と独自の個性を持ったかけがえのない存在です。ところが現代社会の中で私たちは役割の中に埋没し、互いに心を閉ざし、かかわり合うことをおそれ、人間をあたかも物の如くに扱い、自分も取るに足らぬ物としか感じられなくなっていないでしょうか。

人間関係の教育は、対話を通して自分の価値観や人生観をみがき、他者への思いやりと感受性を豊かに養い、ひとりひとりが生かされるグループや共同体を形成し、人間疎外の社会を愛と信頼関係のあふれる人間尊重の社会へと変革することと、それらの担い手を育てることに取り組みます。

いまこそ本当に人間関係の教育が必要とされているのです。

---

### 基礎研修

---

対話やコミュニケーションをするときの自分自身の、話し聴く能力、チームワークやリーダーシップなど、小集団の中での有効な人間関係のあり方などを、体験を通して学びます。特別に用意された実習を行いながら、その体験をお互いに報告し話し合い、まとめていくラボラトリーメソッドを使いますので、単なる講義とは違って、自分自身のあり方そのものを学ぶことができます。

企業人、教育関係者、医療関係者、ボランティア活動家、主婦、学生など、人間や人間関係に関心を持っている方々にとって、最も気軽に参加できる体験学習の機会です。

研修は毎週1回、10週間で1コースになるように計画していきます。

#### 第45回人間関係講座（春期・土曜日・午後2：00～4：30）

1996年4月27日

5月11日／18日／25日

6月1日／15日／22日／29日

7月6日／13日

担 当：星野 欣生・中村 和彦

\*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

#### 第46回人間関係講座（春期・月曜日・午前9：30～12：00）

1996年5月13日／20日／27日  
6月10日／17日／24日  
7月1日／8日／15日／22日

担 当：伊藤 雅子・佐竹 一予

\*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

#### 第47回人間関係講座（秋期・金曜日・午後6：30～9：00）

1996年9月27日  
10月4日／11日／18日／25日  
11月8日／22日／29日  
12月6日／13日

担 当：山口 真人・楠本 和彦

\*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

定 員：各回とも30名

会 場：南山短期大学

研 修 費：各回とも24,720円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

### 専 門 研 修

#### Tグループ〔人間関係トレーニング〕

Tグループは、1947年にアメリカで始まり、その後世界各国で実施されている、深く人間関係を学ぶ集中的なトレーニングです。教育・福祉・医療など人間にかかわるすべての専門職業人や組織の管理者、人間や人間関係に関心を持っている方、自分の生き方を探っている方などにとっての必須の体験の場と言えるでしょう。Tグループでは、“いま、ここ”の場の中に起こっているコミュニケーションや相互影響関係についての気づきを、お互いにフィードバックしあいながら、自分自身を学び、人間関係のプロセスと本質を体験的に学んでいきます。それは一つ一つの影響関係がより深い人間関係を生み出し、次第にグループという有機体を形成していく過程を体験することにもなります。

担 当 者：星野 欣生・中堀 仁四郎・津村 俊充・伊藤 雅子・中野 清・中村 和彦

日 程：1996年9月5日（木）～10日（火）5泊6日

フォローアップ1996年12月8日（日）

定 員：30名

会 場：(財)キープ協会・清泉寮

〒407-03 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111

参 加 費：研修費71,070円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

滞在費は実費(48,000円程度)を別途徴収させていただきます。

## トレーナー・トレーニング

このセミナーでは、人間関係の中で、学び生きることを促進するための態度と技能を、まさに体験を通して学びます。Tグループを想定した状況の中で、参加者が交代で実際にトレーナー役を勤めたり、観察者としてグループ状況をフィードバックしたりしながら、グループプロセスの理解や人間理解に加えて介入に関する理解を深めます。

プログラムの中では随時、ベテラントレーナーを交えてのディスカッションやケーススタディなども交えながら、許容的な雰囲気の中で相互にクリティークを行います。

期待される成果は

- ・カウンセリングなどの基本になる「受容」「共感的理解」「自己一致」や「人間尊重の姿勢」などを、自分自身の生きた姿で点検できます。
- ・体験過程を促進する効果的な言葉かけや介入を学ぶことができます。
- ・組織や学級運営に役立つグループプロセスを観察・診断するスキルを修得できます。
- ・グループメンバーを尊重しながらグループを促進するように介入するスキルを修得できます。
- ・自分自身の介入の問題点や可能性を探ることができます。

\*参加者の関心に応じて、ラボラトリーのデザインの問題や具体的なプログラミングの問題なども取り上げることができます。

担 当 者：中堀 仁四郎・山口 真人・津村 俊充

日 程：1997年3月20日(木(祝))～24日(月)4泊5日

定 員：18名

参加資格：Tグループ、エンカウンターグループなどの構造化されていないグループ体験のある方、または、それらに準じた体験学習を経験しておられる方で、トレーニングスキルの修得を目的にしている方。

(不明な場合はセンターまでお問い合わせ下さい)

会 場：(財)キープ協会・清泉寮

〒407-03 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111

参 加 費：研修費89,610円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

滞在費は実費(43,000円程度)を別途徴収させていただきます。

## TA入門（トランザクショナル・アナリシス）＜A・B＞

TA (Transactional Analysis) はエリック・バーン博士(1910-1970)により開発され、のちに彼の仲間達とともに発展させられた心理療法の体系です。

TAは、わたしたち誰もが基本的には“I'm OK, You're OK”の存在であるという価値観に基づいています。“今、ここ”に気づき、自らが自分の在り方を選びながら、自分のOKであることを確かめ、また相手とも肯定的な関係を作り出していきます。

TAは心理療法として発達しましたが、私たちの自分自身との関係や他者との関係の改善、楽しい職場や家庭づくりなどに大いに生かすことが出来るものなのです。

この講座ではTAの基本的な考え方を理解し、体験学習の方法を用いて自己理解を深め、成長への手がかりをつかむことをねらいにします。

担当者：中堀 仁四郎

日程 A：1996年8月5日(月)・6日(火)・7日(水) 3日間集中(通い)

日程 B：1996年11月2日(土)・3日(日)・4日(月(祝)) //

定員：各24名

会場：南山短期大学

研修費：28,840円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

## TAによる自己啓発

TAを中心に、ゲシュタルトセラピーなどの考え方もとりいれながら、自己に焦点をあてます。ゆったりとした環境の中で、グループで助け合いながら、自分をふりかえったり、自分の可能性を探ったりして、エネルギーを充電する時としたいと思っています。

参加する人には、理論を学ぶよりも、自分自身に光を当ててみる、自分の可能性を確かめてみるといったことを期待しています。原則として、TAの入門のコース(当センターでなくてもよい)を経験されていることを望みます。

担当者：中堀 仁四郎

日程：1997年3月7日(金)～9日(日) 2泊3日

定員：16名

会場：(財)キープ協会・清泉寮

〒407-03 山梨県北巨摩郡高根町清里3545 TEL (0551) 48-2111

研修費：36,050円(消費税ならびに申込金2,000円を含む)

滞在費は実費(27,000円程度)を別途徴収させていただきます。

## 個人・人格・人間 ―日本人の生き方を哲学する―

本講座では特定の思想家の思想を学ぶのではなく、受講者自身が「哲学する」ためのテーマと方法を学びます。今回は、人格や個人の尊重がさげばれながら、実際には集団の力学が優先しがちな日本社会の状況を生きる私たち自身の課題はなにかを、身の回りのできごとをテーマにとりあげながら、哲学してみます。若干の講義と、それをうけてのディスカッションを中心に行います。

担当者：中野 清

日 程：土曜日 10回 午後1：30～3：00

1996年5月11日／18日／25日

6月1日／15日／22日／29日

7月6日／13日／27日

定 員：20名

会 場：南山短期大学

研 修 費：28,840円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

\*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

## ボディークワーク・セミナー

21世紀に向けて、未知の大海原をひたすら航海を続けている私達ですが、さまざまな変化の中、今までに描かれた海図に頼ってられない気がします。また雲行きもあやしく、これから大きな嵐に遭遇しそうな気配です。そのような今、私達はどのように方向を見定めていけばよいのでしょうか。

一つの方策として、地球上に育まれてきた命としての人間というところに立ち返り、私達のもつ三つの叡知（あたま・こころ・からだ）を見直してみたいと思います。

まず羅針盤としてのからだの叡知のホコリを払い、三つの叡知の本来の力をとりもどし三つが共に働くようにできたらと思います。

- ・今回は合宿形式で― からだというセンサー・五感を磨くことに集中したいと思います。
- ・はじめは― 新鮮な空気をたっぷり吸い込み、からだをゆるめます。
- ・そして― 言葉を使わず、人や自然とコミュニケーションをとってみます。
- ・すると― 何が起こるのでしょうか。起こったことを既成の枠組みや知識に照らし合わせる前に、じっくり味わってみます。
- ・それを皆と分かち合うことによって― 今、必要とされている何かが見い出されることを期待しています。
- ・合宿は自然の豊かな愛知県小原村で行います。

担当者：グラバア俊子

日 程：1996年7月26日（金）～28日（日）（2泊3日）

定 員：20名

研修費：37,080円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

宿泊費・宿泊時の食費は別途徴収させていただきます。

（15,000円程度の予定です）

会場は名古屋駅から公共交通機関で約2時間

名古屋インターから車で約45分 瑞浪インターより約30分

### からだとことばのセミナー

—現代は私たちを砂粒のように流動化、鑄型にかこいこむ。私たちは、いつ顔をあげ、ひとり立ち、どのように他者に手をさしのべ、かかわりを作り出してゆけるだろう。—

人と人と向きあい、ふれ、そして応え、ことばを交わすこと、主体がある自分のからだに気づき、動き出してゆくこと、を試みてみたいと思います。

- ひとにふれ切れない自分にきづく
- 自らのからだのこわばりにきづき、からだをときほぐす
- 深く安らぐ
- 息を広げる
- 他者に働きかけ、そして応える
- 歌う、話しかける

短い時間でどれだけのことが成り立つかわかりませんが、からだ全体が深くいきいきと表現へ向かってはずみ出す感覚が、湧き出てきたらいいな、と思います。

担当者：竹内 敏晴

日 程：1996年7月23日（火）・24日（水）・25日（木）3日間集中（通い）

定 員：30名

会 場：南山短期大学

研修費：43,260円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

### ユング心理学

ユング心理学の分野は幅広く、その理論は難解で、解説書によって受動的に理解するにとどまりがちです。この講座では、講義によってユング心理学について学ぶのではなく、ユング心理学の考



えを軸にして、自分自身についての気づきと理解を深めることを試みようと思います。具体的にはラボラトリー・メソッドを用い、用意された実習の中で自己表現をしたり、話し合ったりしながらすすめていきます。今回もペルソナとシャドー、及びタイプなどをテーマにプログラムを考えています。能動的に参加し、体験を通してこれまで知らなかった自分に出会っていきましょう。

担当者：木村 晴子

日程：1996年7月21日（日）・27日（土）・28日（日）（通い）

定員：24名

会場：南山短期大学

研修費：27,810円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

## 女性の自立と共生に向けて

この講座は、さまざまな学習方法を取り入れ、自分をみつめ自分に問いかけながら進めていきます。ジェンダー論や女性論の視点も加え、自分らしい充実した生き方の方向をさがります。今回は自分史づくり、アサーション・トレーニングや交流分析などを部分的に取り入れることを考えています。

担当者：伊藤 雅子・佐竹 一予

日程：月曜日 8回 午前9：30～12：00

1996年10月7日／14日／21日／28日

11月18日／25日

12月2日／9日

定員：20名

会場：南山短期大学

研修費：28,840円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

\*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行います。

## アートセラピー 「わたしと語る」

アートセラピーは、誰もが生まれ持った創作力を用いて、その人の創造性を活性化することで、この世に一つしかない「わたし」を感じ、体験していくことを援助していきます。内なる「わたし」が外での「わたし」といつも同じとは限らず、時には外の「わたし」がすべてであると感じることがあります。「何を描くべきか？」とか「何が役に立つ作品か」ということに気が回ってしまい、

内にある「わたし」のメッセージを聞かないで外での「わたし」に委ねることがありませんか。自分が造りたいものを自由に何からも束縛されず作り出した時、「わたし」からのメッセージを感じることができるかもしれません。この講座では、パペットを造りながら、パペットが語る言葉に耳を傾け、もう一人の「わたし」と語ってみる体験をしていきたいと思ひます。

担当者：伊東 留美

日 程：土曜日 6回 午後2：00～3：30

1996年5月11日／18日／25日

6月15日／22日／29日

定 員：20名

会 場：南山短期大学

研 修 費：27,810円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）

\*南山大学・南山短期大学コミュニティ・カレッジとの共催事業として行ひます。

## ドストエフスキイを読もう

世界文学の中でも独特の位置を占めるドストエフスキイの作品は一度は読んでみたいものの一つでしょうが、これに一人で挑戦するのはなかなか困難なことだ。大抵登場人物の名が途中でわからなくなったり、肝心の筋がどうなっているのかに戸惑うことがあることだと思ひます。しかし、グループで読んでみると、自分とは違う読み方があるのに気づいたり、他の人もやはり自分と同じような疑問をもっていることがわかったり、自分とは違う物の考え方を教えられたりします。こうしたグループでの読書の長所を生かしながら、時に講義を交えて、ドストエフスキイを読み解いていきたいと思ひます。じかに、自分の眼でドストエフスキイの作品に触れ、格闘することによって、そこに描き出されている人間の心理、性格、思想をもとにして、人と人との関係や宗教、人生をいかに生くべきかの諸問題を語りあいたいと思ひます。ドストエフスキイが好きな人、一度挑戦してみたい人、どうも好きになれない人、ちょっと知ってみたい人はどうぞお集まり下さい。

本年はドストエフスキイの初期作品の一つ『悪霊』を読みます。

担当者：大森 正樹

日 程：土曜日 午後4：00～6：00

1996年4月13日／27日

5月11日／25日

6月15日／29日

7月13日

9月28日

10月12日

11月2日／30日

12月14日

1997年1月11日／18日

定 員：若干名

会 場：南山短期大学

参加費：茶菓代程度

テキスト希望者に用意します（テキスト代実費）

## 聖書深読入門

「聖書深読法」というのは、たとえてみるとピクニックのようなものです。それぞれが、自分の小さいお弁当をもってきて、谷川のほとりで腰をおろし、みんなでわけわけしながら、お昼をするのにも似ています。高級なお料理ではありません。卵やパン、チーズや野菜と果物ぐらいのもので。でも、その時のピクニックのお昼の味は、どんな高級レストランのデラックスなご馳走よりもおいしいものです。

もうひとつの別のたとえですと、禅語の「指月の指（しげつのゆび）」。「ことば」というのは、「ひとさし指」のようなものですから、その指ばかりみつめていても月は見えない。うがった、よいたとえです。「聖書」も印刷されたひとつの「ことば」ということでは、ひとさし指です。そこで大切なのは、その指がさしている天上の月の方に共に目をやることです。そのことを学ぶのが「聖書深読法」です。南山短期大学人間関係研究センターでこの講座をみなさまと共にすることができますことを心から感謝しています。豊かな主の恵みのときとなりますように。

担 当 者：奥村 一郎

日 程：1996年9月17日（火）・18日（水） 2日間集中（通い）

定 員：20名（初めての方を優先させていただきます）

会 場：南山短期大学

参加費：資料代実費・その他茶菓代程度

【問い合わせ先】南山短期大学人間関係研究センター

TEL. 052-832-6214

FAX. 052-832-6210

## 南山短期大学人間関係研究センター規程

- 第1条 本学に南山短期大学人間関係研究センター（The Center for the Study of Human Relations of Nanzan Junior College）（以下「センター」という。）をおく。
- 第2条 センターは、キリスト教的人間観に立って広く学際的・行動科学的に人間・人間関係の研究および研修を行うことを目的とする。
- 第3条 前条の目的を達成するために、次の各号の事を行う。
- 1 人間・人間関係に関する研究と教育の推進
  - 2 センターと目的を共通にする学外研究機関との協力
  - 3 地域社会における開かれた大学としての諸機能を果たすために研究会・研修会等の開催および個別的相談・指導・援助等
  - 4 研究成果の刊行および文献・資料の収集と一般への公開
  - 5 その他センターの目的達成のために必要と認める事業
- 第4条 センターに研究員を置き、そのうち1名をセンター長とする。
- ② 研究員およびセンター長は学長が委嘱する。
- 第5条 センター長は、センターの事業を掌理し、センターを代表する。
- 第6条 センターは、必要に応じて顧問、相談員および講師をおくことができる。
- 第7条 センターは、その目的にそって研修しようとするものを研修生として受け入れ指導・援助を行う。
- ② 研修生についての規程は、別に定める。
- 第8条 センターに事務職員をおく。
- ② 事務職員は、センター長の指示をうけてセンターの事務を担当する。

### 付 則

本規程は、昭和52年9月30日より実施する。

## 南山短期大学人間関係研究センター研究員

（1995年4月～1996年3月）

センター長	伊藤 雅子				
研究員	グラバア俊子	樋田大二郎	星野 欣生	市瀬 英昭	河津 雄介
	木村 晴子	まどか庸代	水野 道子	文珠紀久野	中堀仁四郎
	中村 和彦	中野 清	大森 正樹	R. A.メリット	竹内 敏晴
	津村 俊充	山口 真人			(A B C順)
事務局	早川奈美江				

## 編集後記

第13号の特集を企画して、原稿を集め、その他、レポートや研究ノート、特別研究会やミニレクチャーを配して、やっとのことで編集後記を書くところまでこぎつけた。実に長い間の編集期間だった。それだけの時間をかけたことが、本紀要の内容の中に現れていることを希うばかりである。

多様化していく人間関係の諸相を捉えようとするにあたり、様々な人間関係の根底に「いのち」が横たわっているのではないか、と思い始めたのが、この特集を生み出すきっかけとなった。我々は自分の「いのち」を含めて、あらゆるものもつ「いのち」をその十全な形において、またそのあるがままにおいて、豊かに、そして真剣に受け取っているのだろうか、という思いがその底には流れている。普段、我々は我々のうちに脈打つ「いのち」の鼓動に鈍感になっている。その「いのち」のあり様をそれぞれ専門を異とする教員が、ある立場に立ちながら、刻み出していったのが、ここに掲載した論文である。その意味で、この特集が「いのち」の諸相と人間関係の連関性を表現していたら幸いである。

また研究ノートとしてはTグループの実践状況を具に報告してもらった。南短の人間関係科が、その創立以来行っているTグループの実態を世に問うことによって、人に知られ、それを通して、多くの方々の有益な御意見をいただきたいと思っている。

また本学の非常勤講師の竹内先生、伊東先生からも特集に御寄稿いただいた。誌上を借りて厚く御礼申しあげます。また本学卒業生で、現在、アメリカのCalifornia institute of Integral Studiesで研鑽を積んでいる川浦さんからもレポートとして英文の論文を送ってもらった。いろいろな形で卒業生が世の中ではばたいていることの証になればと念じている。

(大森 正樹 記)

目次

特別講演 コンティンジェンシ-理論についてー現状と課題... 野中郁次郎・ 2
特集 「Tグループ」
JICEラボラトリー・トレーニングの変遷(その1)... 中堀仁四郎・ 11
高等教育におけるTグループの実践... 見野欣生・山口真人・ 36
人間関係科Tグループ実践をめぐって... 滝 誠 会・ 77
Tグループによる学習過程理解のための方法的研究1)
一学生の形容詞表現による答問処理解への多次元的アプローチ... 林村 俊光・ 90
Tグループに於ける女性
一規範と性別制による問題点... KANTER・倉澤優三・ 99
専報報告 (1977年~1983年)
I 研究会
1. 「コンティンジェンシ-理論について」... 野中郁次郎(一橋大学)・108
2. 「大学教育におけるTグループ適用の試み」... 見野 欣生(南山短大)
一教育の革新を求めてー 山口 真人(南山短大)・109
3. 「これからのカウンセリングのあり方」... 小林 純(上智大学)・111
4. 「わたしの歩んできた道」... 菊山 徳樹(上智大学)・113
5. 「ヒューマンスティック・エデュケーション
の動向と自己成長への身体的アプローチ」... グラハバ 俊子(南山短大)・116
6. 「アパーと教育ー技と技を中心としてー」... 真行寺 功(金沢大学)・118
7. 「With-nessということ」... 見野 欣生(南山短大)・120
一教師・学生関係についてー
8. 「関係の神学」... 農村 聖子(聖母女学院短大)・122
9. 「教育を考えたおす」... 伊東 博(横浜国立大学)・126
10. 「からだ、ことば」... 竹内敏晴(宮城教育大学)・128
II 社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座... 132
2. 人間関係専門研修講座... 134
3. 人間関係特定研修講座... 137
4. 社会人研修参加者統計... 140
5. 1984年度社会人研修予定... 141
III 南山短期大学人間関係研究センター規程... 142
IV 南山短期大学人間関係研究センター役員... 143

目次

特別研究会 人間関係の教育ー体験学習... 河合 雄雄・ 2
特集 「人間教育における体験学習」
I 高等教育における体験学習
1. 南山短期大学人間関係科の教育の概観... 見野 欣生・ 39
一10年の歴史と展望
2. 人間関係科における教育の試み... R.A.メリット・ 47
一見直された体験学習
3. 「人間関係科による「体験学習」」... 柳原 光・ 64
一トレーニングから学習へー
II 南山短期大学人間関係科の10年
1. 教育の実践
一学次の授業の流れ... 83
1) キリスト教概論I, II, III... 宮本 桂・ 84
2) 人間関係概論A, B... 柳原 光・ 89
3) 人間関係基礎論I(哲学的基礎・問演習)... 倉澤 優三・ 95
4) 人間関係基礎論II(心理学的基礎・問演習)... グラハバ 俊子・ 100
5) 人間関係基礎論III(社会的基礎・問演習)... 山口 真人・ 106
6) 人間関係研究法(その1)... 見野 欣生・ 114
7) 人間関係研究法(その2)... 見野 欣生・ 117
一フィールドワーク
一学次の授業の流れ... 123
8) 人間関係各論I(教職に関する領域)... 伊藤 雅子・ 124
9) 人間関係各論II(組織・集団に関する領域)... 山口 真人・ 132
10) 人間関係各論III(文化に関する領域)... 森田 茂彦・ 136
11) 人間関係各論IV(教育に関する領域)... R.A.メリット・ 141
12) 人間関係各論V(援助法に関する領域)... グラハバ 俊子・ 145
13) 人間関係各論VI(学習に関する領域)... 山口 真人・ 150
14) 人間関係実践演習III(卒業研究)... 見野 欣生・ 156
2. 学生の学びとその軌跡
1) 在学2年間に卒業後5年間の個人の成長記録から... 倉澤 優三・ 162
2) 卒業生の進路調査から... 津村 俊光・ 179
3. 人間関係科に新しくかかわる教員として
1) 教師と学生のかかわりをめぐって
一心理職分野の教員としてー... 木村 晴子・ 205
2) 「体験学習」を修習する
一体験と知とコトバ、知の権限を求めてー... 中野 清・ 208
投稿 JICEラボラトリー・トレーニングの変遷(その2)... 中堀仁四郎・ 217
専報報告 (1984年)
I 研究会
1. 「そこの主婦ー商店のおかみさんたち」... 天野 正(千鳥大学)・ 269
2. 人間関係科における体験学習 グラハバ 俊子(南山短大)・ 271
一教員の十二年間
3. 体験学習と理論学習をめぐって... 中野 清(南山短大)・ 273
一絆を結びー
II 社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座... 277
2. 人間関係専門研修講座... 279
3. 人間関係特定研修講座... 281
4. コンサルテーション... 283
5. 社会人研修参加者統計... 285
6. 1985年度社会人研修予定... 286
III 南山短期大学人間関係研究センター規程... 288

目次

特別研究会 人間関係と自己表現... 竹内 敏晴・ 2
特集 「自己表現」
I 自己表現ワークショップからの報告
自己表現ワークショップの概要... 山口 真人・ 33
ワークショップ1「私の仮面作り」... 木村 晴子・ 36
ワークショップ2「自由に語り、感ずるままに！」... 会沢 俊三・ 46
ワークショップ3「クリエティブ・ペインティング」... 山口 真人・ 53
ワークショップ4「オリエントミ」... 見野 欣生・ 60
ワークショップ5「情熱とスベイン舞踏ー感情と表現ー」... まどか 庸代・ 71
ワークショップ6「絵本づくりー誕生ー」... 文殊紀久野・ 86
II 自己表現をめぐっての考察
1. チームづくりと自己表現... 見野 欣生・ 93
2. 神秘体験にみる自己表現... 大森 正樹・ 98
3. 現代文化と自己表現... 植田次二郎・102
ミニレクチャー
体験学習... 見野 欣生・109
プロセスとは何か... 津村 俊光・116
コミュニケーション・プロセス... 山口 真人・120
邦訳ミニレクチャー
センシティブティ・トレーニングとは何か... Charles Seashore(津村俊光訳)・125
グループ:その誕生から死までのサイクル... Richard C. Weber(津村俊光訳)・130
レポート
人間関係研究センター社会人研修
「人間関係基礎研修の理論と実際」... 津村 俊光・137
実務員から報告
「私の人間関係体験学習の中で」... 高平百合子・150
専報報告 (1985, 1986年度)
I 研究会
1. 「今日からみた人間関係科創設の意義」... 植田 優樹・153
2. 「スペインにおける生命倫理研究の現状」... まどか 庸代・155
II 社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座... 158
2. 人間関係専門研修講座... 162
3. 人間関係特定研修講座... 164
4. コンサルテーション... 166
5. 社会人研修参加者統計... 166
6. 1987年度人間関係研究センター専報予定... 167
南山短期大学人間関係研究センター規定... 169

目次

巻頭言... 見野 欣生
特別研究会:「学習者を中心にすえた教育のあり方めぐって」... 河津 雄介・ 2
特集/グループの中に生きる
1. 個を生かす集団・集団を生かす個... 見野 欣生・ 45
2. キリスト教における個と集団... 市瀬 英昭・ 50
3. 現代科学における個と集団の問題をめぐって... まどか 庸代・ 55
一原子論からバイオホロネックスの発想までー
4. 人間関係科の教育における個と集団
一関係に定位した教育の実現をめざしてー... 山口 真人・ 69
5. 「個」と「集団」... 横山 彰・ 77
一合流教育実践からの考察一
6. チームづくりのトレーニングと組織開発... 見野 欣生・ 91
山元由美子
緒熊 京子
7. 企業内研修におけるグループトレーニング... 松本 寛之・121
田辺 昂
8. 南山短大における集団不適合... 木村 晴子・130
一学生相談室開設に向けての報告一
ミニレクチャー
援助するということ... 竹内 敏晴・139
態度価値と責任性存在... 大森 正樹・144
対人感受性の開発... 山口 真人・149
一人間関係トレーニングの原理と実際一
レポート
NTLにおける最近のラボラトリー・トレーニング... 津村 俊光・157
専報報告 (1987年度)
I. 研究会... 171
II. 社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座... 175
2. 人間関係専門研修講座... 178
3. 人間関係特定研修講座... 180
4. コンサルテーション... 183
5. 社会人研修参加者統計... 185
6. 1988年度人間関係研究センター事業予定... 186
南山短期大学人間関係研究センター規定... 190

目次

巻頭言 伊藤 稚子
特別研究会:「自己との対話 十牛の図」 柳田 聖山... 1
「水月の極意村り中墨のこと」 上原 輝男... 38
特集/対話 1. 対話的生 宮本 桂... 49
2. からの対話 竹内 敏晴... 57
3. Cross Cultural "Dialogue" in the Age of Commodity Culture R. A. メリット... 72
4. 典礼—神と人との対話 市瀬 英昭... 89
5. 神との対話としての祈りとアイコン 大森 正樹... 93
6. 聴くということ 木村 晴子... 97
7. 専門化社会とおせっかい 榎田大二郎... 103
—教師と生徒の対話についての考察—
8. 科学人と宗教人との対話 まどか暁代... 115
校稿: [翻訳] 人間学 O. マルカド (中野 清沢)... 127
レポート: 教師のためのセミナー 山口 真人... 147
ミニレクチャー:
アクション・リサーチ 星野 欣生... 155
人間関係の変革 山口 真人... 160
—社会的感受性と人間関係のスキル—
事業報告 (1988年度)
1. 人間関係基礎研修講座... 168
2. 人間関係専門研修講座... 171
3. 人間関係特定研修講座... 177
4. コンサルテーション... 180
5. 社会人研修参加者統計... 182
6. 1988年度人間関係研究センター事業予定... 183
南山短期大学人間関係研究センター規定... 187

目次

巻頭言 津村 俊亮
特別研究会:「体験学習とキリスト教教育」 坂口 順治... 1
特集/Tグループ再考
1. Tグループの倫理 中堀仁四郎... 35
2. Tグループと霊性教育 まどか暁代... 49
3. Tグループに関する2つの考察 木村 晴子... 60
4. ラボラトリー教育におけるプログラミングについての考察 津村 俊亮... 67
—Tグループを中心にした教育実践に向けて—
5. トレーナーになること 星野 欣生... 79
6. 対話的教育—M. プーバーの教育論をめぐって— 宮本 桂... 89
7. 学生にとってのTグループの意味 文珠紀久野... 99
8. Tグループに思う
(1) 悪い気づき R. A. メリット... 136
(2) Tグループトレーニングの場に臨むとき 會澤 俊三... 138
(3) Tグループで思うこと 大森 正樹... 141
(4) Tグループトレーニングの経験と家族 伊藤 稚子... 143
(5) Tグループ実践への提案 津村 俊亮... 146
—私のTグループ体験から—
(6) Wendepunkt—私のTグループ— グラバア 俊子... 150
(7) Tグループ随感 竹内 敏晴... 153
レポート: Tグループの実験 浜本孝子・河原紀久子... 155
南山短期大学人間関係科でのTグループ合宿の動向 星野 欣生... 173
ミニレクチャー:
Tグループ 山口 真人... 179
TグループQ&A 星野 欣生... 189
人間関係とフィードバック 津村 俊亮... 199
効果的なコミュニケーションのための5つの要素 中堀仁四郎... 203
事業報告 (1989年度)
1. 社会人研修概要... 209
2. 人間関係基礎研修講座... 210
3. 人間関係専門研修講座... 213
4. 人間関係特定研修講座... 215
5. コンサルテーション... 217
6. 社会人研修参加者統計... 219
7. 1989年度人間関係研究センター事業予定... 220
南山短期大学人間関係研究センター規定... 225

目次

巻頭言 星野 欣生
特別研究会:「日本に於ける生涯学習の動向」 那須野隆一... 1
特集/生涯学習の実践 一歩びつな—
1. 生涯学習と体験学習 星野 欣生... 41
2. いま生涯学習に期待されるもの 伊藤 稚子... 55
—生涯学習と体験学習的人間関係教育—
3. 第二の大航海時代の生涯学習 グラバア 俊子... 81
4. 生涯の大事 竹内 敏晴... 94
5. 生涯教育方向性 リチャード・A・メリット... 100
6. 「生涯学習」雑感 河津 雄介... 103
7. 人間関係基礎研修の理論と実際 津村 俊亮... 106
8. ボランティア活動と生涯学習 青木木子・山口真人... 119
—いのちの電話活動におけるボランティア相談員の成長—
9. セルフ・サイエンス 津村 俊亮... 130
—自己認識を深めるためのトレーニング—
10. ドストエフスキーを読む 大森 正樹... 139
—大人の読書会をやって—
11. 想起—礼拝における学び 市瀬 英昭... 142
12. 体験を通して「からだところ」の健康づくり 石田 幸栄... 146
13. 「体験学習」と自己理解 寺西佐雅代... 150
—学生から教師という立場になって思ったこと—
14. 私の教育メモ 吉川 房枝... 154
ミニレクチャー:
体験学習と学習ジャーナル—自己理解を深めるために— 津村 俊亮... 159
介入ということ—構造化された実習において— 星野 欣生... 167
ふりかえりについて—体験学習において— 星野 欣生... 173
事業報告 (1990年度)
1. 社会人研修概要... 177
2. 人間関係基礎研修講座(一般研修)... 178
3. 人間関係専門研修講座(継続研修)... 181
4. 人間関係特定研修講座(継続研修)... 183
5. コンサルテーション... 185
6. 社会人研修参加者統計... 187
7. 1990年度人間関係研究センター事業予定... 188
南山短期大学人間関係研究センター規程... 193
あとがき—生涯学習制度の健全— まどか暁代... 194

目次

巻頭言 中堀 仁四郎
特集/からだ
1. 開談:折るからだ (竹内敏晴・大森正樹・中野清) ... 1
2. 「奇跡物語」にみる「からだ」の変容 (市瀬英昭) ... 38
3. 「表現するからだ」走り書き (竹内敏晴) ... 46
4. 自己理解の手がかりとしての「からだへの気づき」 (寺西佐雅代) ... 53
特別研究会:「内側からみる」 (佐伯 幹) ... 61
研究ノート:
授業記録:人間関係原論(1989-90年度)
~学生とともに人間関係の原点をさぐる~
(竹内敏晴・山口真人・グラバア俊子・中野清) ... 107
教育に目的があって、情熱を抱いてはいけないのか
ランド・ストーリーなきあとと教育 (榎田大二郎) ... 147
フェジとラボラトリー(体験学習) (星野欣生) ... 166
ミニレクチャー:
成長するための「岸」—人間教育のひとつの意味— (木村晴子) ... 175
コミュニケーションのプロセスとその障害要因 (津村俊亮) ... 181
非言語コミュニケーション—からだの語ることば— (グラバア俊子) ... 188
事業報告 (1991年度)
事業概要... 193
社会人研修
1. 人間関係基礎研修講座(一般研修)... 194
2. 人間関係専門研修講座(継続研修)... 197
3. 人間関係特定研修講座... 198
4. 社会人研修参加者統計... 199
コンサルテーション... 200
1992年度人間関係研究センター事業予定... 202
南山短期大学人間関係研究センター規程... 209

目次

巻頭言 ..... 水村 明子

特集/人間教育の核心—学ぶこと・変わること

1. 林竹二先生について ..... (竹内敏晴・尾野欣生・米沢穂積) ... 1
2. Tグループにおける集団と個の変化  
—参加者の気づきと学びを中心にして— ..... (津村俊充) ... 39
3. 性格は「変わる」?  
—「ゆらぎ」構造に目を向けて— ..... (大森正樹) ... 89
4. 傍観者から共感者へ ..... (伊藤雅子) ... 95

特別研究会:「人間科学の方法論」 ..... (村上隆一郎) ... 103

ミニレクチャー:

人間関係トレーニングにおける人間成長への変容モデル ..... (津村俊充) ... 139  
より効果的なミーティングに向けて ..... Milstein, M.M. ... (津村俊充訳) ... 146

事業報告 (1992年度)

事業概要 ..... 153

社会人研修

1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) ..... 154
2. 人間関係専門研修講座(継続研修) ..... 156
3. 人間関係特定研修講座 ..... 159
4. 社会人研修参加者統計 ..... 160

コンサルテーション ..... 161

1993年度人間関係研究センター事業予定 ..... 163

南山短期大学人間関係研究センター規程 ..... 172

目次

巻頭言 ..... 中野 尚

In memoriam 初原光先生 ..... R.A. メリット

特集/自己実現

1. 「女性として生きる不安」を越えて  
—女性の自己実現のための課題をめぐって— ..... (伊藤雅子) ... 1
2. ひとり立つこと  
—表現と自己実現— ..... (竹内敏晴) ... 15
3. 大学の自己点検・評価と組織の活性化  
—組織の自己実現に向けて— ..... (星野欣生) ... 25
4. 自己実現の目指すもの ..... (大森正樹) ... 34

特別研究会:「内面世界と自己意識」 ..... (梶田敏) ... 39

レポート:神経科クリニックでの体験学習の試み  
—両親のためのコミュニケーション講座— (寺西佐雅代・中嶋仁四郎) ... 83

ミニレクチャー:

「百聞一見に如かず」ってほんとう? ..... (津村俊充) ... 97

事業報告 (1993年度)

事業概要 ..... 103

社会人研修

1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) ..... 104
2. 人間関係専門研修講座(継続研修) ..... 107
3. 人間関係特定研修講座 ..... 110
1. 社会人研修参加者統計 ..... 111

コンサルテーション ..... 112

1994年度人間関係研究センター事業予定 ..... 114

南山短期大学人間関係研究センター規程 ..... 122

目次

巻頭言 ..... 竹内 敏 晴

特集/愛

1. 家族と愛  
—結婚の社会学的考察をめぐって— ..... (伊藤雅子) ... 1
2. 恋愛と人格  
—その西歐的かたち— ..... (大森正樹) ... 10
3. 愛の役割  
—マザー・テレサとシスターたち— ..... (竹内敏晴) ... 16

研究ノート:体験学習を用いたグループと個人の成長のための教育実践  
—「人間関係プロセス論」の授業報告— ..... (伊藤雅子・津村俊充・大塚弥生・中村和彦) ... 37

特別研究会:「大学教育のあり方」  
—「何を」教えるかではなく「どのように」— ..... (土田友章) ... 159

ミニレクチャー・鼎談:

1. コントロールからファシリテートへ  
—組織の中でいかにL. E. A. D. (リード)するか— ..... (尾野欣生) ... 191
2. 人間としてのトレーナー  
—ベストな介入行動を開発するための重要な視点について— ..... (津村俊充) ... 203

事業報告 (1994年度)

事業概要 ..... 211

社会人研修

1. 人間関係基礎研修講座(一般研修) ..... 212
2. 人間関係専門研修講座(継続研修) ..... 213
3. 人間関係特定研修講座 ..... 214
4. 社会人研修参加者統計 ..... 216

コンサルテーション ..... 217

1995年度人間関係研究センター事業予定 ..... 219

南山短期大学人間関係研究センター規程 ..... 228

編集者 大森正樹

人間関係 第13号  
1996年3月20日 発行

編集発行者

〒466 名古屋市昭和区単人町19番地  
電話 (052) 832-6 2 1 4・6 2 1 1  
FAX (052) 832-6 2 1 0

南山短期大学人間関係研究センター  
代表者 伊藤 雅子

印刷所

㈱尾頭橋印刷所  
名古屋市中央区南脇町3丁目20番地  
電話 (052) 351-6 2 3 1番(代表)